

事業名	自然公園美化推進事業費		
細事業名	富士の国やまなし山岳観光地美化活動事業費補助金	財務コード	435101
担当部課室	観光 部 観光資源 課 資源管理 担当 (内線)	4303	

事業の概要

実施期間	始期 18 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(南アルプス美化推進協議会・甲斐山麓広域圏環境美化推進協議会・八ヶ岳南麓美化活動推進協議会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	南アルプス、八ヶ岳、秩父多摩甲斐国立公園の3地域	美しい自然環境が保持されている	観光客満足度の向上
事業の内容 主にH25年度	事業概要: 山岳観光地の美化清掃を実施する団体等に対して予算の範囲内で補助金を交付する。 補助先: 南アルプス美化推進協議会・甲斐山麓広域圏環境美化推進協議会・八ヶ岳南麓美化活動推進協議会 補助率: 1団体100万円を限度に、補助対象経費の1/2以内 補助対象経費: 山岳観光地美化清掃に要する経費		
根拠法令等	富士の国やまなし山岳観光地美化活動事業費補助金交付要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	活動回数	85	72	75	72	72	目標設定の考え方 美化活動の活動回数。 (甲斐山麓(奥秩父)3回/月程度) (南アルプス2回/月程度) (八ヶ岳山麓1回/月程度)
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		104.2 %				データの出典等 予算見積書
成果指標	成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			目標設定の考え方 データの出典等
	決算額又は予算額 (千円) うち一財額	950	950	950	950	950	成果指標によらない成果 『山梨県観光入込客統計調査において、自然景観において満足と回答した割合』 過去3年間の平均満足度は92.5%であり、満足度は非常に高い。この高い満足度を毎年維持するため、目標値は92%以上を維持することとする。 H25 93.5 H26 92.0 H27 92.0 『山梨県観光客動態調査』より
所要時間(直接分)	40 時間	40 時間	40 時間	40 時間	40 時間		
所要時間(間接分)	0 時間	0 時間	0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	40 時間	40 時間	40 時間	40 時間	40 時間		
人件費1st 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	82	82	82	82	82		

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度活動指標の達成率		
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度成果指標の達成率		活動目標回数72回に対し、実績値75回であり、達成率104.2%であった。よって、美化清掃活動を実施し、美しい自然環境を保持することにより、国立公園を訪れる観光客の満足度が向上していると判断でき、意図した成果を達成している。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	清掃活動等を継続的に実施することによって環境保全の必要性・重要性への理解が深まることで、観光客や登山者によるゴミの投棄量が減少してきている。今後は、県のホームページでも清掃活動の周知を行うことで、一層の美化意識の啓発と、清掃活動への参加人数の増加を図っていく。	b

・「以外の判断項目」の欄

a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: 7Qの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方角(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方角	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方角」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	県のホームページでも清掃活動の周知を行い、一層の美化意識の啓発と、清掃活動への参加人数の増加を図っていく。

・見直しの方角は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること